

# 勝山中学校PTAニュース

平成26年3月13日  
勝山中学校 PTA  
会長 澤 さやか



3年生のみなさん、卒業おめでとうございます！  
この一年間、部活で、体育大会で、文化祭で、進路に向けての姿勢で……、多くの場面で“一生懸命はかっこいい”という姿を見せてくれて、**ありがとう！**  
良き先輩の姿を後輩達が受け継いでくれることを期待します。今年度、最後の活動報告です。

## PTA後期総会

会員数628名の内、出席者41名・委任状468名で  
合計509名となり、定足数を満たし総会は成立しました。  
第1号議案・第2号議案ともにご承認を頂きました。  
ありがとうございました。



続いて、次年度本部役員・監査委員のご信任を頂きましたのでご紹介します。

## 平成26年度本部役員・監査委員

会長	澤 さやか	1-5
副会長	西本 普美	2-4
副会長	山本 弥生	2-5
庶務	日野 由美	2-3
庶務	米住 美知世	2-6
庶務	櫻谷 佳子	1-5
会計	高柳 史江	2-3
会計監査	齊藤 寿志	1-3

## 制服リサイクルにご協力おねがいします！

制服だけでなく、柔道衣・体操服・ジャージ上下・体育館シューズもお洗濯されたものを職員室 又は 在校生に預けて先生へお渡し 願います。



保護者ならびに教職員の皆様、今年度もPTA活動にあたたかいご理解とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

3年生保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。  
子どもたちがいたからこそ出来た保護者同士のつながりが、  
今後とも続いていくことを心より祈っております。

PTA本部役員一同

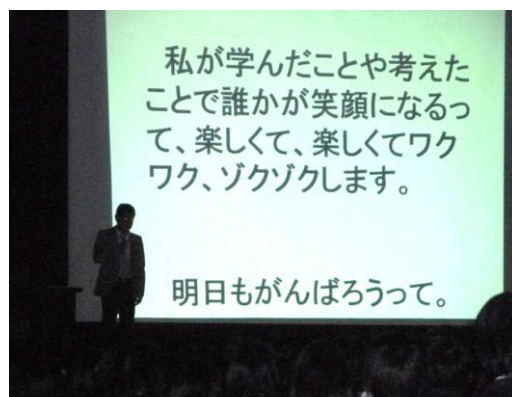


## 思い出に残る 卒業記念講演会

毎年この時期に、巣立っていく子ども達に少しでも広い世界を知って欲しいと様々な分野から講師をお招きし、お話を伺っています。

今年は、大変お忙しい中、文部科学省所属の長田徹氏に来て頂き、感動のお話が聞けました。

長田氏は仙台教育委員会に勤務されていたときに東日本大震災に遭われ、避難所運営や学校復旧に関わってこられました。その中で、小・中学生が大人に勇気を与える場面を目の当たりにし、今回、その力についてお話いただきました。写真による震災の恐ろしさを伝えて頂いただけでなく、そういった同年代である中学生が持つ力についてお話していただき、子ども達も勇気づけられたのではないのでしょうか。



不安で震えているお年寄りの肩を抱いてあげる子。泥まみれの人に人工呼吸をしてあげる子。遠くで濁流の中に落ちないように物にしがみついている人を見て、その人が眠ってしまわないように一晩中励ましの声を掛けてあげた子ども達。純粋な子ども達の力って素晴らしいなと感動しながら聞きました。震災後もがんばる子ども達と地域の人達の間で温かい励ましのやりとりは素敵でした。

長田先生から「他人のためにすることは自分のエネルギーになり、人や社会と積極的に交わることで夢や希望を持てるようになる。夢や希望は他人から与えられるものでなく自分でつかむもの」「人の役に立つこと、誰かを笑顔にすることの夢の種をまこう。どんな夢の種を蒔くかは自分次第。」と教えられました。

“震災”と聞くと、被災していない私たちは、既に過去の事として捉えがちで「また」と感じる人もいるでしょう。ですが、被災された人達にとっては「まだ」なのです。最近の子ども達は想像する力が弱くなっていると聞きます。世の中には様々な境遇の人達がいることを、この機会に想像して欲しいと思います。今はこの狭い町の中の学校という更に狭い世界で過ごしていますが、年齢と共に世界が広がっていきます。その中で人と上手く交わるには相手の事を考える想像力が必要です。また、人は誰でも、“生きる力”を持っています。一日一日を大切にし、“生きる力”を強く持って欲しい、自分の持っている力を信じて前向きに生きていって欲しいと切に願います。

最後に長田先生から、真っ直ぐ前を見て真剣に聞いていた勝中生の姿を褒めて頂きました。それは、私たちPTAだけでなく子ども達自身も誇らしかったと思います！